

ノリ養殖環境速報 KH-01-04 (播磨灘)

令和元年12月5日 発行

調査年月日：令和元年12月2～4日

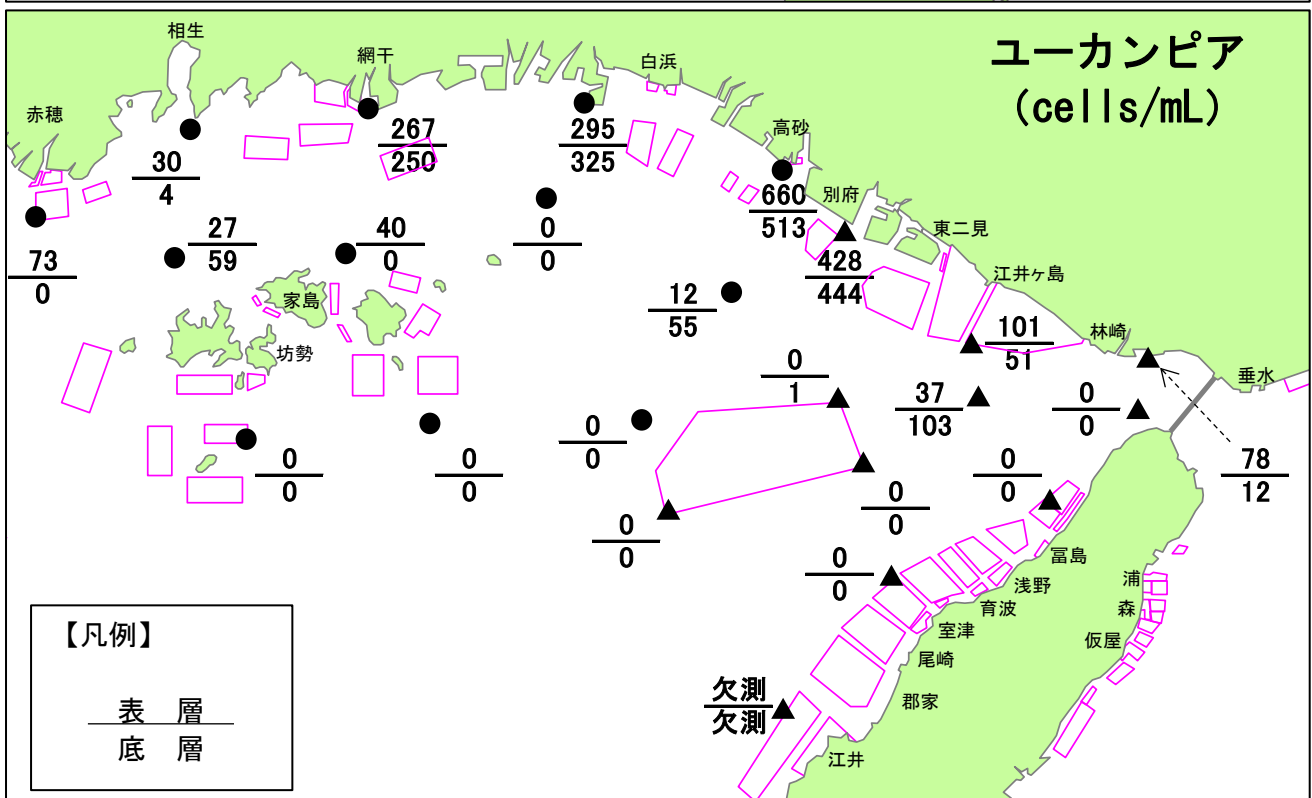
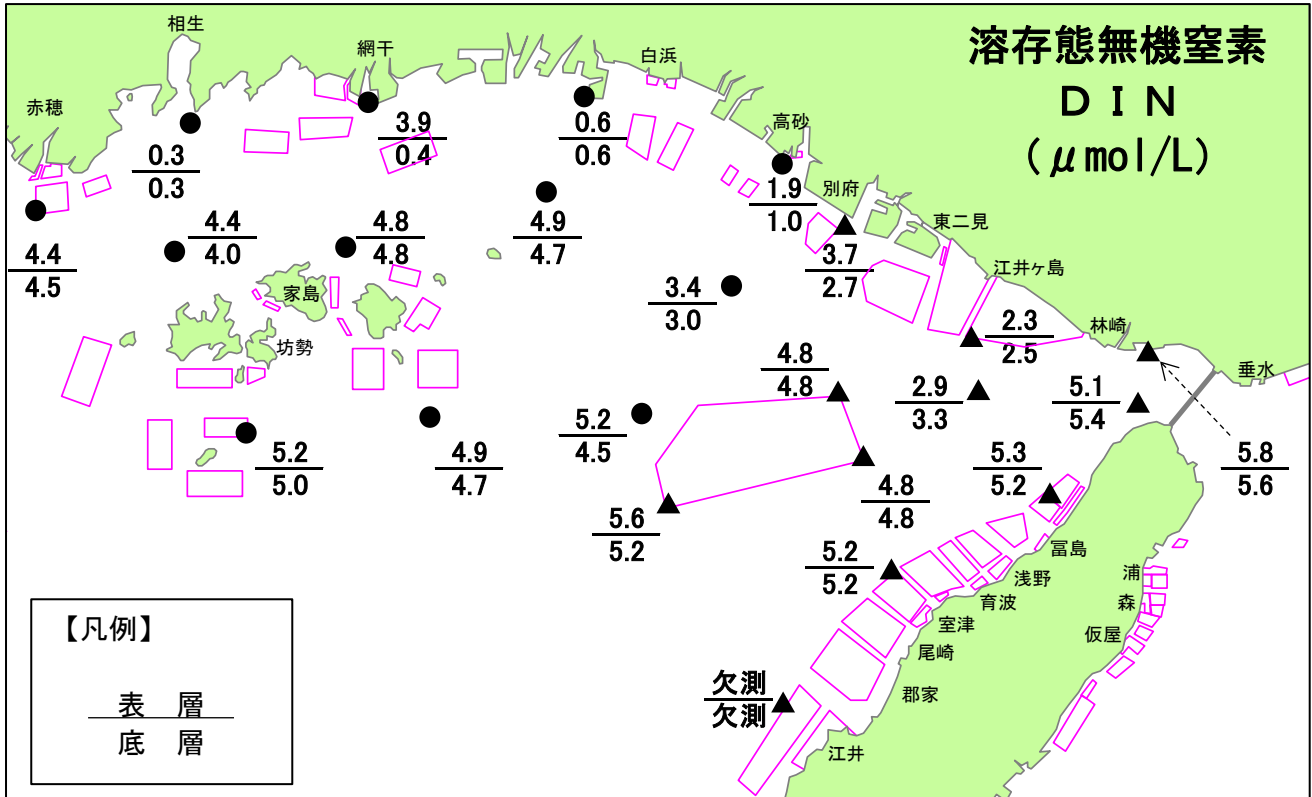
〔調査箇所は地図上に●（西部）および▲（東部）印で表示しています。〕

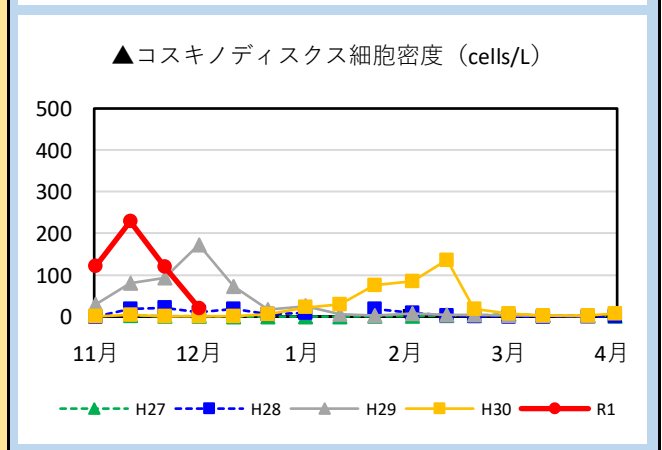
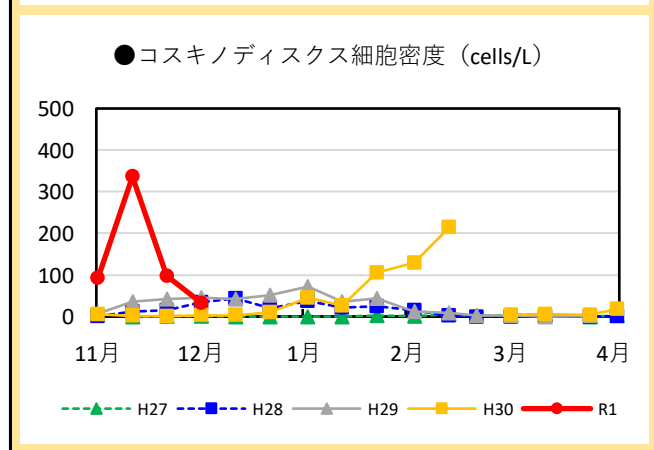
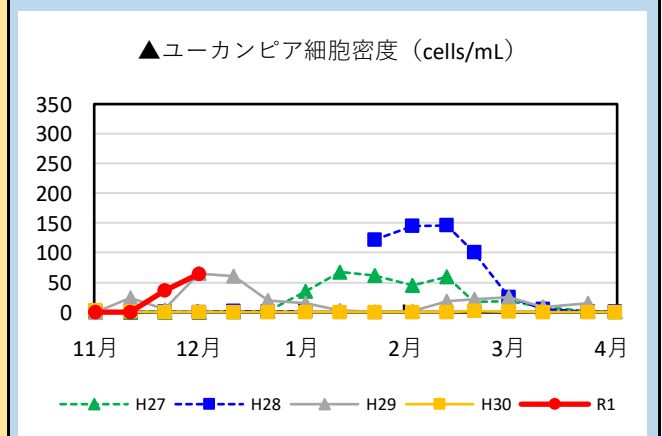
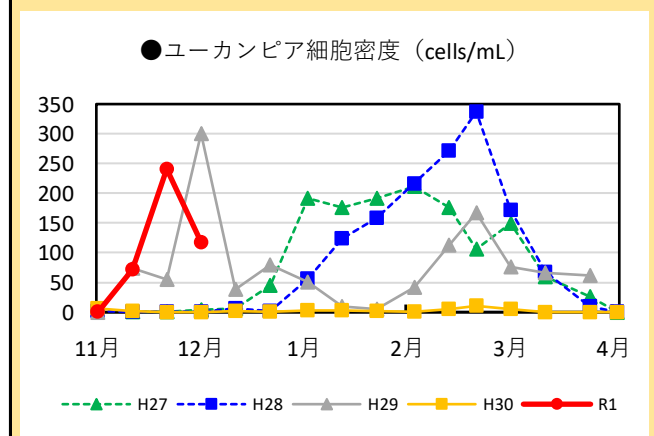
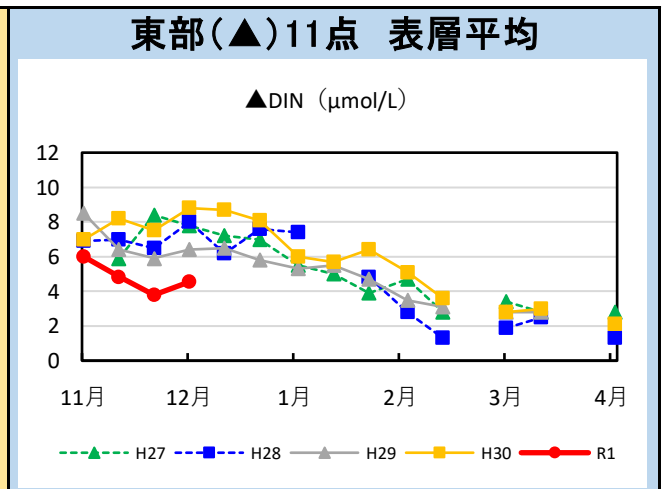
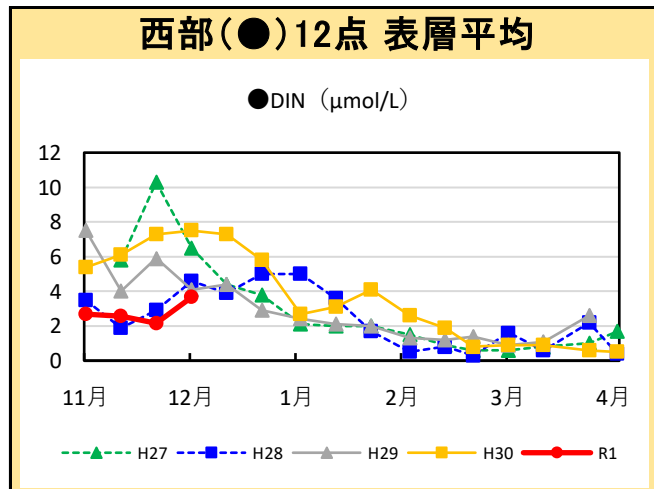
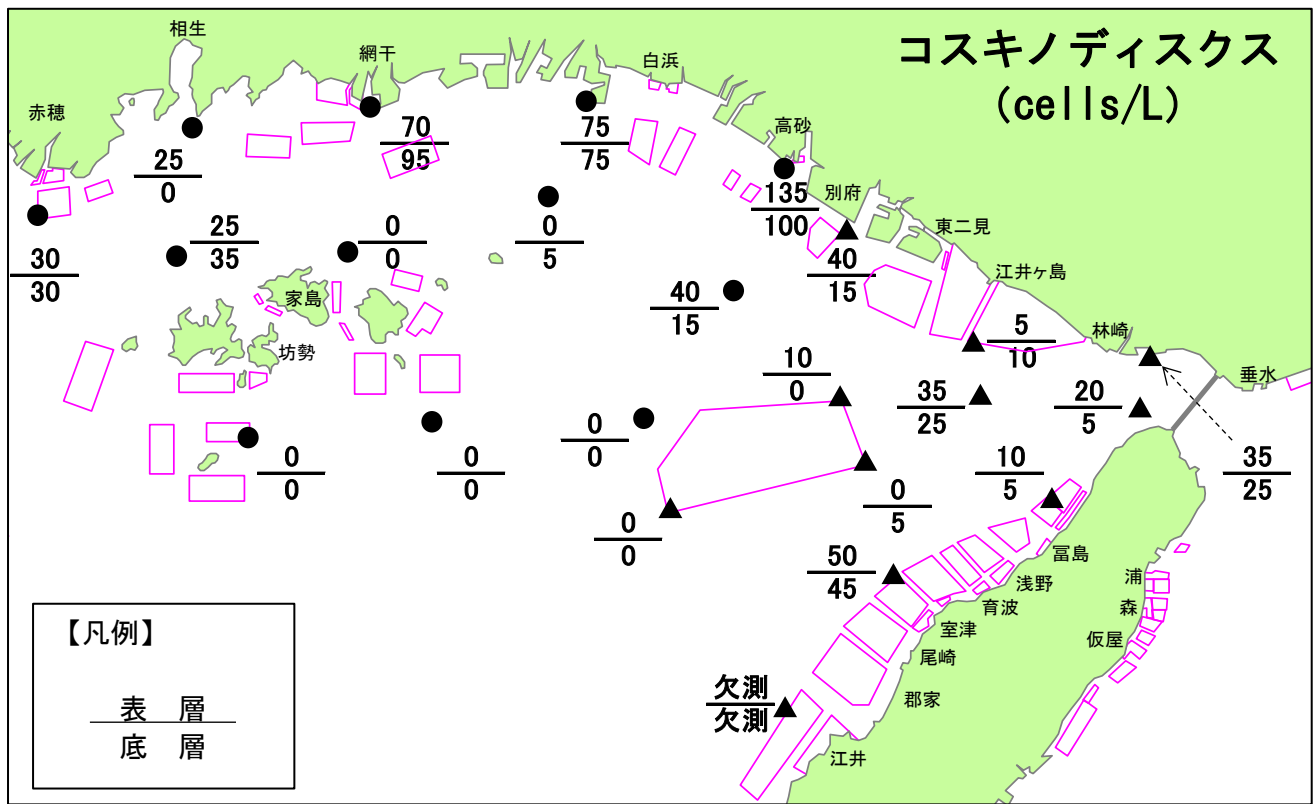
概況

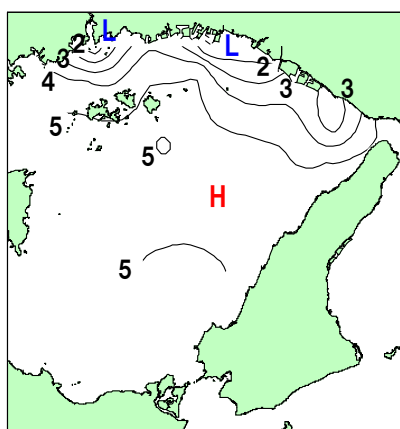
播磨灘北部（調査海域）の表層DIN濃度は、西部では0.3～5.2 $\mu\text{mol/L}$ の間、東部では2.3～5.8 $\mu\text{mol/L}$ の間で推移しています。白浜や相生の沿岸部では、1.0 $\mu\text{mol/L}$ 以下と低くなっています。

北部沿岸の姫路から高砂沖で、大型珪藻のユーカンピアが大量発生しています。先月まで多く発生していたコスキノディスクス・ワイレシーは減少しました。その他の珪藻類は全般に少なめです。

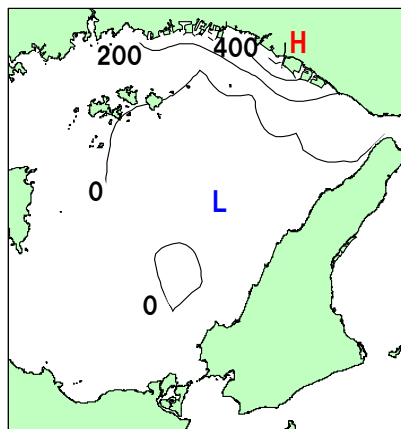
水温は、白浜以西では15.3～16.6 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では17.1～18.5 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で15.9～17.5 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では17.0～17.5 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では16.7～18.4 $^{\circ}\text{C}$ でした。



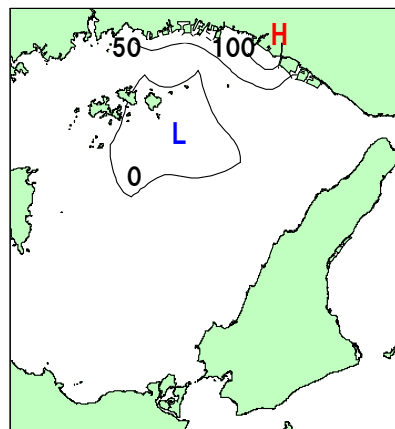




DIN濃度 (μmol/L)



ユーカンピア (cells/mL)



コスキノディスクス (cells/L)

令和元年12月2～4日の水平分布状況(表層、実測値)

(Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています。)

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は播磨灘沖合で高く、沿岸部で低い結果でした。

先月まで多く発生していたコスキノディスクス・ワイレシーは減少しましたが、北部沿岸の姫路から高砂沖で、大型珪藻のユーカンピアが大量発生しています。その他の珪藻類は全般に少なめです。沖合域では植物プランクトンの発生が非常に少なくなっています。

ユーカンピアの今後の発生状況によっては、DIN濃度の低い状況が続く可能性もありますので十分ご注意ください。

週間天気予報 気象庁12月4日16時31分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、北部では高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がり、雨または雪の降る日がある見込みです。中部や南部では、高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、気圧の谷や湿った空気の影響で雲の広がる日があるでしょう。

最高気温は、期間の中頃にかけて平年並か平年より低く、終わりは平年より高い見込みです。

最低気温は、平年並か平年より低く、期間の終わりには平年よりかなり高い日があるでしょう。

降水量は、平年並か平年より少ない見込みです。

その他の情報

・岡山県の情報は12/4に、香川県の情報は12/3に更新されています。

・他県の調査については、以下のURLから参照してください。

岡山県：<http://www.pref.okayama.jp/page/579394.html>

香川県：<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

【参考】栄養塩の単位：μmol/L = μg・at/L = μM

【今後の予定】

・令和2年4月上旬まで毎月3回程度（上・中・下旬）の発行を予定しています。

・次回は令和元年12月12日頃に発行する予定です。

※この情報は、水産技術センターホームページ (<http://www.hyogo-suigi.jp/>) でもご覧いただけます。